

ガミースマイル修正術とは

ガミースマイル修正術とは、歯肉の切除・上唇粘膜切除・人工物の挿入により、笑った時に歯茎が過剰に露出してしまっている状態を見えにくくする手術です。

術後の状態・ケアについて

・1～2週間後に来院していただき、抜糸を行います。・手術から1週間はイソジンうがいをしていただきます。・傷口への刺激になりますので、刺激物の飲食は術後1週間ほどお控えください。・当日は体が温まり血流が良くなると出血する可能性があります。術後1週間程度は血流が良くなることで腫れを防ぐため、長時間の入浴や熱いお風呂を避けていただき軽めのシャワーのみでお過ごしください。・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。・歯の治療やカラオケなど、口を大きく開く行為は術後1ヶ月ほどお控えください。1ヶ月経過後も、口を開ける際に違和感が継続する場合があります。術後半年程度は手術部位の様子を見ながら、無理のない範囲で口を開くようにしてください。※経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

ガミースマイル修正術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】口腔内または表皮に内出血が生じる場合があります。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。【痛み】局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。【腫れ】当日より若干の腫れが起こります。概ね1～2週間ほどで腫れは引いていきます。【しびれ・知覚鈍麻・麻痺】細い神経の損傷により一次的にしびれや感覚障害、麻痺が生じる場合があります。【感染】術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服や外科的処置が必要となる可能性があります。【左右差】手術直後より左右差が出ることもあり、ダウンタイム中はとくに左右差を強く感じる場合があります。元々人体は左右非対称であり、また個々の鼻の形、筋肉の動き、普段の生活上の癖や表情の作り方などが原因で、完全な左右対称や完璧な理想の形にはならない場合があります。

ガミースマイル修正術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、鼻に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。